

夷瀬郡

美知乃倍乃、宇萬良能宇禮爾、波保麻米乃、可良麻流伎美乎波可禮加由加牟、

右一首天羽郡上了丈部鳥、

〔郡名考〕上總 夷瀬 イシミ 夷隅

〔地名字音轉用例〕シノ韻ヲマノ行ノ音ニ通用シタル例

いじみ 夷瀬 上總郷 伊志美 濱ハジンノ音ナルヲ、ジミニ用ヒタリ、燈心例ナドモニハ伊自牟トアリ、モトハ然云シナルベシ、サレバイシミト云ハ、サガミト云類ニテ、後ノ唱ヘカ、書紀ニハ伊甚トアリ、

〔南總郡鄉考〕郡鄉

〔古事記傳〕伊自牟國造○中書紀安閑卷元年四月、伊甚國造稚子直等云々の罪ありて爲皇后獻伊甚屯倉贖罪、因定伊甚屯倉今分爲郡、屬上總國と見ゆ、即和名抄に、上總國夷瀬伊志郡とある此なり、

夷隅郡日本紀曰、安閑天皇元年四月、定伊甚屯倉、今分爲郡、屬上總國、延喜式和名鈔俱ニ夷瀬ニ作ル、東ハ海ニ至リ、南ハ安房國長柄郡界ニ至リ、北西ハ長柄、埴生、望陀三郡ノ界ニ至ル、此郡ニ隸セル、粟又小澤、大田代、小田代、面白、筒森、葛藤ノ七村ハ、往昔市原郡ニ屬セルナラン、又北ノ界、椎木、綱田、中原、泉等ノ四村ハ、舊夷隅郡ノ内ナルベシ、今長柄郡ニ屬ス、鄉名、雨露、廢蘆道、廢荒田、廢新田、野村アリ、東鑑ニ新田ニツクレリ、長柄ニ作ル白羽廢、餘戸、廢、令ヲ案ズルニ、戸數ヲ以テ郡郷ヲ定ム、戸數一郷ニ足知ガタシ、

〔房總志料〕上總附錄夷瀬郡の地を、夷南夷北と割るものは、房總境清澄山を標とし、南北を別てる也、

〔吾妻鏡〕治承四年九月十九日戊辰上總權介廣常、催具當國○中伊南、伊北、廳南、廳北輩等率二萬